

新千歳空港連絡バス 札幌都心線をリニューアル

～「すすきの発 空港ダイレクト」路線を新設、運行経路を見直し、増便します～

令和8年12月11日(金)から運行開始



北海道中央バス株式会社(本社 小樽市 代表取締役社長 二階堂恭仁)は、札幌都心部と新千歳空港を結ぶ新千歳空港連絡バス札幌都心線について、令和8年12月11日からリニューアルいたします。

現在の運行経路をベースとしながら、地元札幌市民のお客さまも、観光利用のお客さまがともにご利用しやすい運行経路へ見直します。

特に冬季の輸送繁忙期に生じるお客さまの乗り残し対策として、「すすきの発新千歳空港ダイレクト」路線を通年で新規運行します。さらに、新たなホテル建設が続く中島公園地区の輸送力強化も図ります。

新千歳空港の航空旅客数が開港以来の最多を更新し続けるなか、当社はお客さまの多様なニーズに柔軟にお応えし、快適でスムーズな移動環境を提供してまいります。

主要トピックス

○「すすきの発空港ダイレクト」路線を新設

利用需要の多い「すすきの」と空港をダイレクトに結ぶ直行便（空港行きのみ、札幌南 IC 経由）を新設します。これにより、現行より6分短縮された「1時間2分（予定所要時間）」で空港へアクセス可能となり、国道36号エリアの混雑緩和も見込まれます。

○「札幌駅前・すすきの」路線と「札幌都心ホテル回り」路線の利用目的に応じた運行経路の見直し

「札幌駅前・すすきの」路線は地元の生活利用・ビジネス利用のお客さまを主な対象とし、「札幌都心ホテル回り」路線は観光のお客さまを主な対象とします。また、往復の経路を出来る限り統一することで、初めて札幌を訪れる国内外の観光のお客さまにも、分かりやすい運行経路にします。

○運行効率化による輸送力の強化

都心部の巡回ルートを最適化・簡素化し、運行効率の改善を図ります。これにより、札幌都心線全体の運行便数は、北都交通株式会社の運行便を含め、現行の161便から171便へ10便増加する予定です。これにより、ピーク時の混雑緩和と安定した輸送体制を構築します。

再編計画の詳細概要

1、実施日 令和8年12月11日（金） ※当社冬ダイヤ改正に合わせて実施

2、再編後の路線・運行経路・運行便数

	路線	経路	便数（単位：便）		
			札幌→空港	空港→札幌	合計
(1)	札幌駅前・すすきの	札幌駅前⇔すすきの⇔（国道36号・北広島IC経由）⇔新千歳空港	68	72	140
(2)	札幌都心ホテル回り	京王プラザホテル札幌⇔各ホテル⇔中島公園⇔（国道36号・北広島IC経由）⇔新千歳空港	9	11	20
(3)	すすきの発空港ダイレクト	すすきの→（札幌南IC経由）→新千歳空港	11	0	11
合計			88	83	171

※ 運行便数は、北海道中央バス株式会社及び北都交通株式会社がそれぞれ運行する便数の合計です。北都交通株式会社の運行便数については、同社に確認した情報に基づき記載しています。

3、運賃（変更なし）

大人運賃 1,500円 札幌都心部～月寒東1-19 ⇔ 新千歳空港

1,400円 清田団地入口～三井アウトレットパーク入口 ⇔ 新千歳空港

今後の展開・PR強化

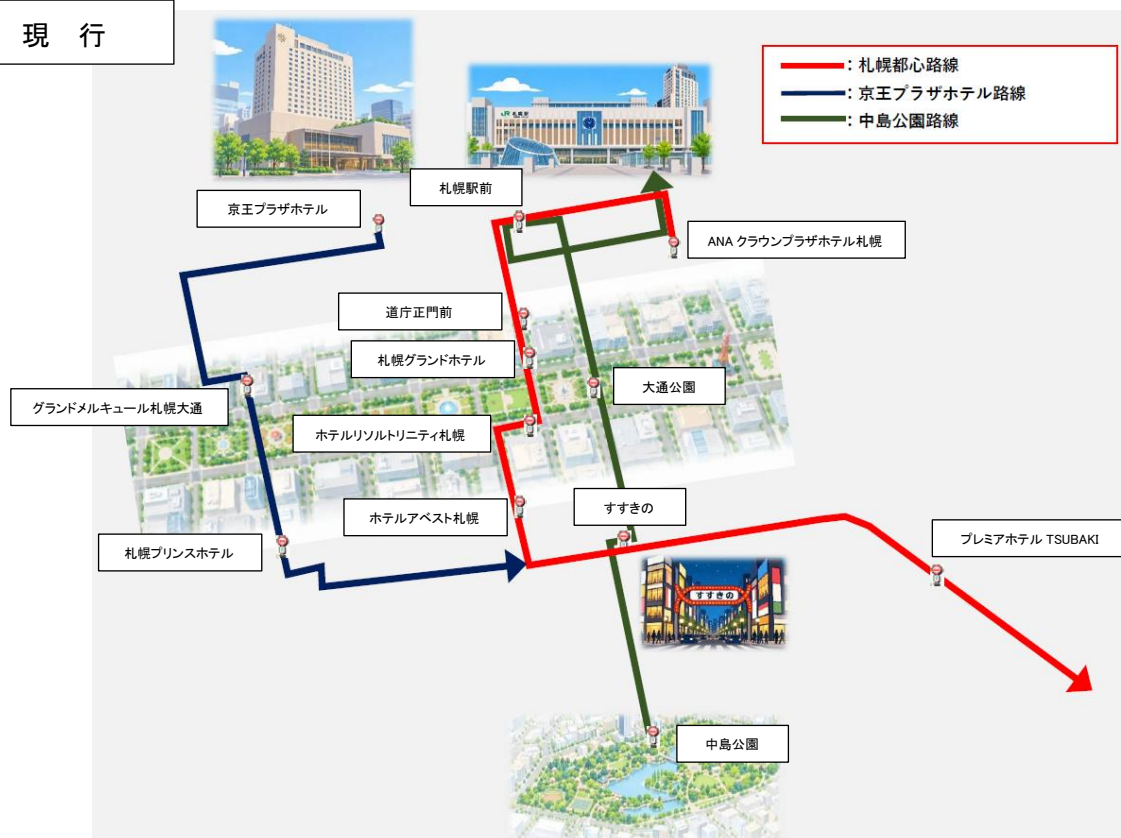
リニューアル後の空港連絡バスの魅力を国内外のお客さまに知っていただくため、多言語対応のWebサイトへの改修やSNS広告の配信を行います。あわせて、新千歳空港、主要ホテル、旅行代理店との連携を強化し、プロモーションに取り組んでまいります。当社はこれからも、札幌・北海道を訪れるすべてのお客さまに、安全・安心かつ快適な交通サービスを提供し、地域の発展に貢献してまいります。

▶新千歳空港連絡バスのリニューアルに関する情報

専用サイト <https://www.chuo-bus.co.jp/feature/airport>

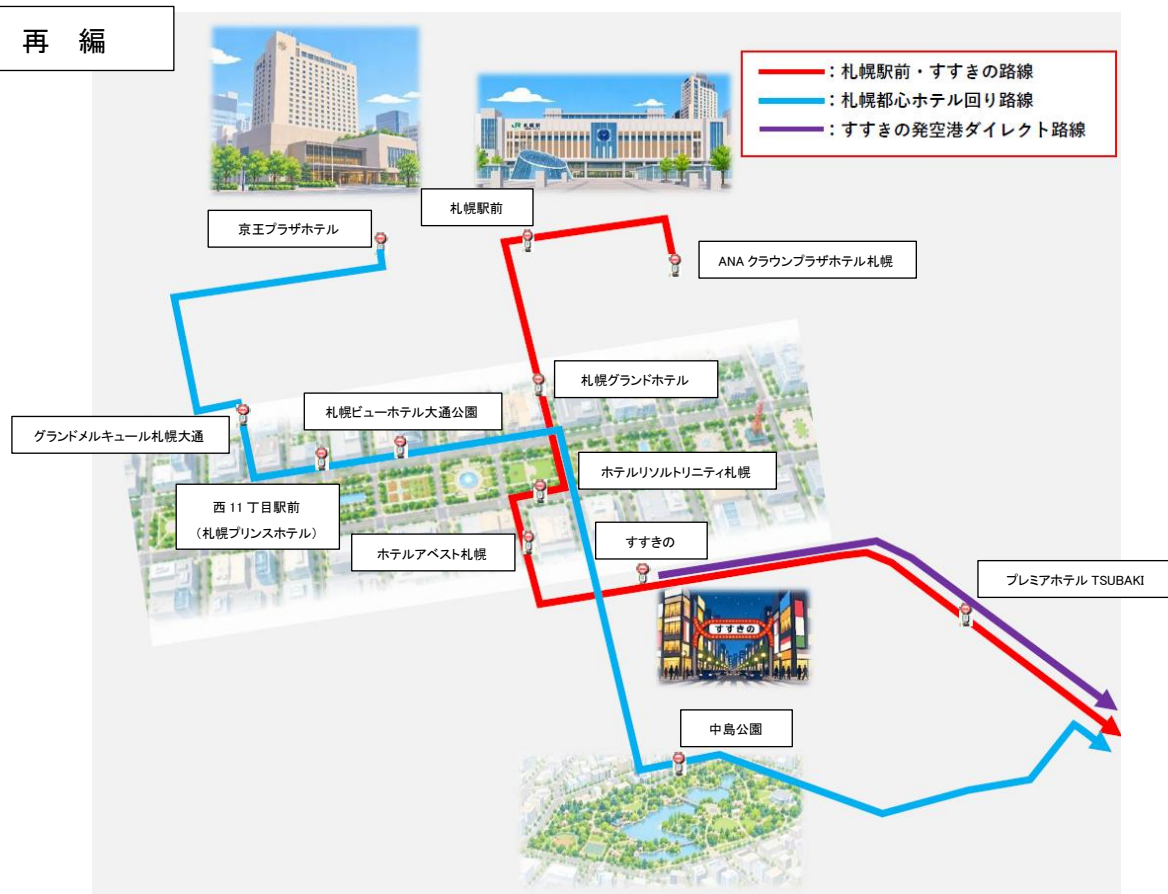
■運行経路図（札幌都心→新千歳空港）

現 行



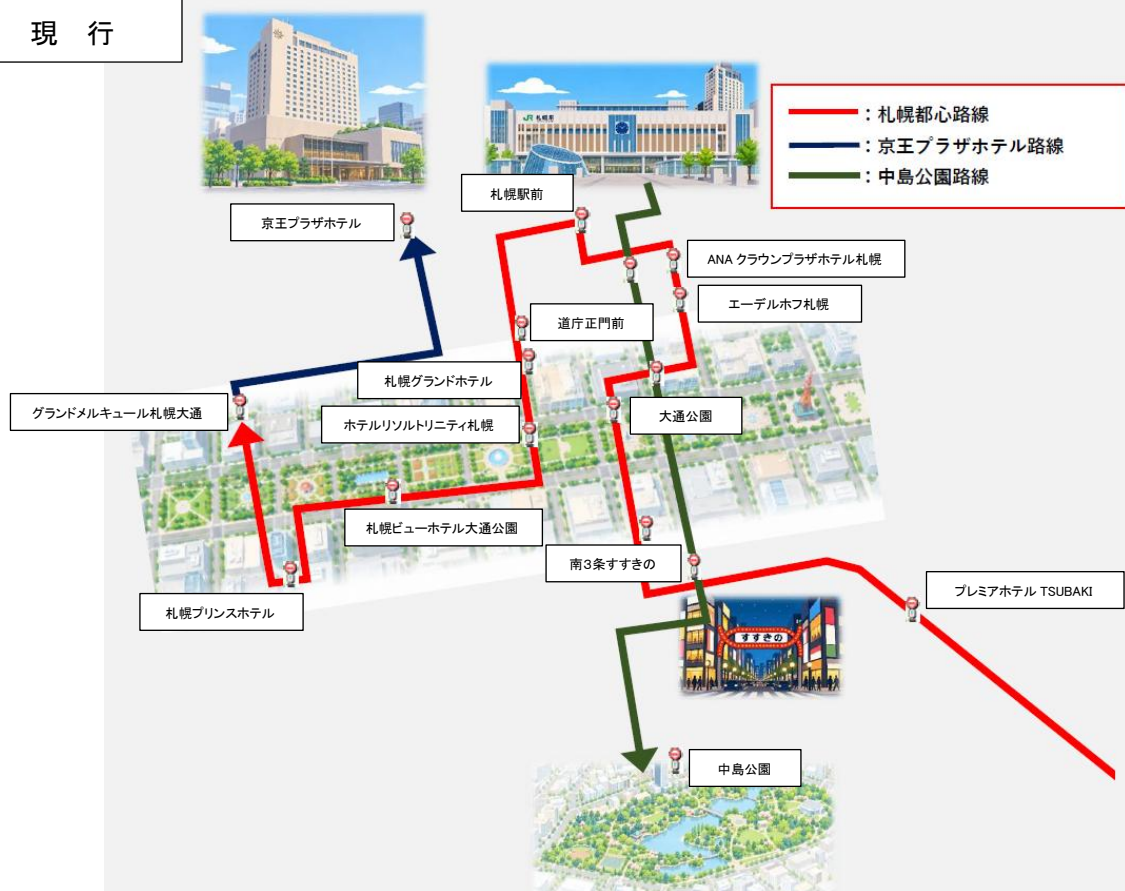
※「ANA クラウンプラザホテル札幌」は北都交通担当便のみ

再 編



■運行経路図（新千歳空港→札幌都心）

現 行



再 編

